

## 戦略研究について

平成25年4月18日

## 1 戦略研究とは

平成17年3月の科学技術部会において、新たな厚生科学研究の5類型（①一般公募型、②指定型、③戦略型、④プロジェクト提案型、⑤若手育成型）の1つとして創設された。国民的ニーズが高く、確実に解決を図ることが求められている研究課題について、その予防・治療介入及び診療の質改善等、国民の健康政策に関連するエビデンスを生み出すために実施される大型の臨床介入研究である。

## 2 戦略研究の特徴（表1）（図1）

一般公募課題と比較すると、戦略研究は「戦略研究企画・調査専門検討会」が戦略研究の研究計画骨子を作成、公募により採択した研究者により研究実施計画書を作成し、厚生科学審議会の承認を得て実施する。

研究の実施に当たっては、選定された機関が実際に研究を行う者や研究協力施設等を公募する。

表1 戦略研究の特徴

	戦略研究	一般公募課題
課題	具体的に設定	具体的に設定
研究目標	原則として、事前に設定	具体的に設定
研究計画の骨子	原則として、事前に設定	研究者に一任
事前評価の視点	実現可能性についての「絶対評価」	申請課題の中での「相対評価」
報告と評価	年次報告・評価に加えモニタリングを実施	年次報告・評価
研究期間	5年	原則として3年を限度
金額	大型（数億円）	平均約2,800万円
課題数	数課題	約1,500課題

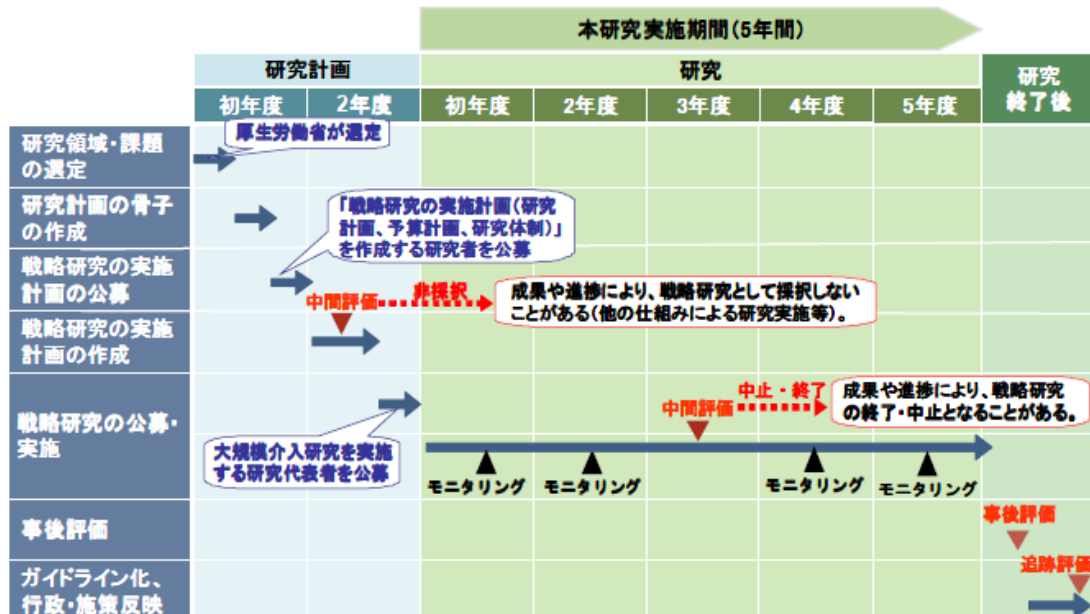


図1 戦略研究の流れ

### 3 戦略研究企画・調査専門委員会

厚生科学課長の私的諮問検討会であり、戦略研究を成功に導くための支援として進捗管理と評価等（研究計画骨子策定、モニタリング、中間評価、事後評価、追跡評価等）を行うとともに、各戦略研究を通じて研究体制や運営方法等の問題を整理して、臨床研究の質の確保に必要な課題の整理及び改善策などの検討を行う。（図2）

### 4 戦略研究課題とその進捗状況

現在までに6領域10課題が5年間の研究を終了し、各研究課題についての戦略研究企画・調査専門委員会での中間評価、事後評価結果を科学技術部会に報告した。（表2）

平成25年度は、「糖尿病予防のための戦略研究」及び「自殺対策のための戦略研究」について、追跡評価を実施する予定である。

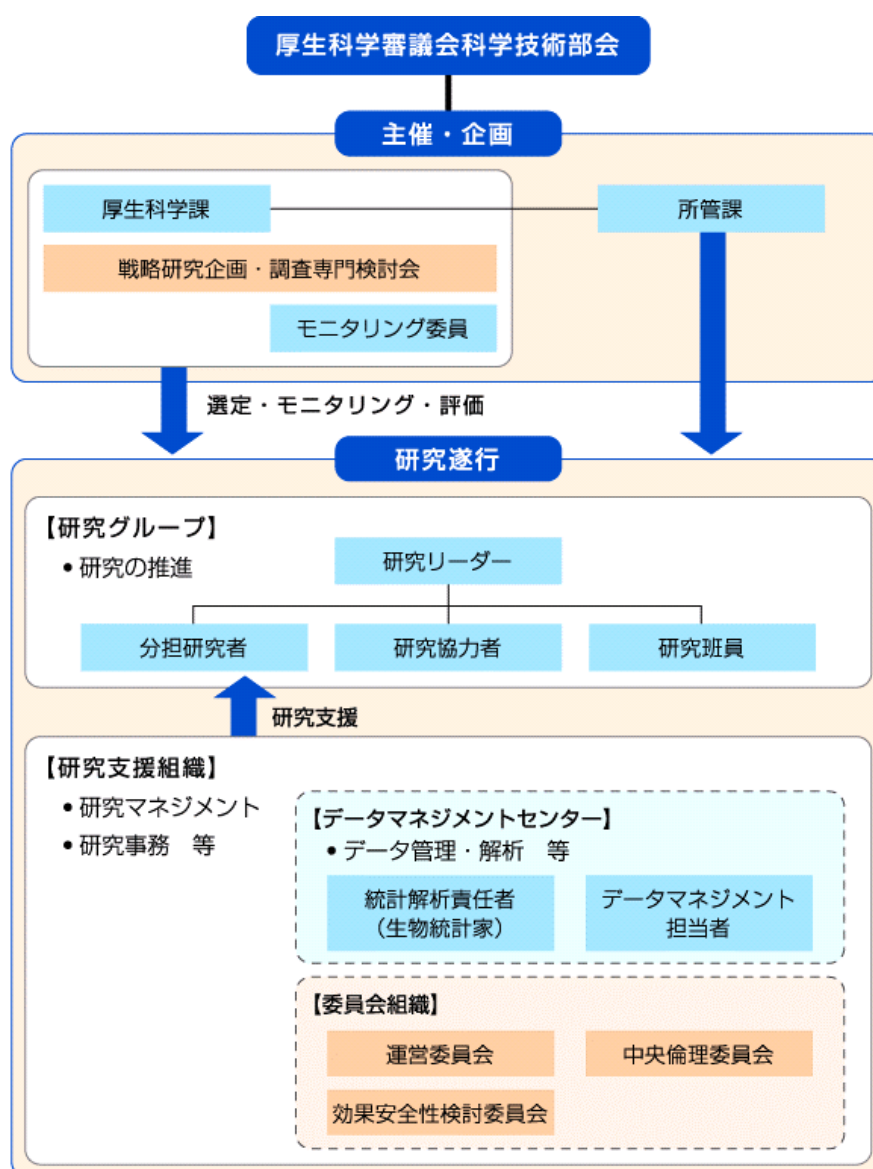


図2 戦略研究の実施体制

戦略研究企画・調査専門検討会委員

○：座長、五十音順、敬称略

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 川上 浩司 | 京都大学大学院医学研究科教授          |
| ○黒川 清 | 政策研究大学院大学教授             |
| 真田 弘美 | 東京大学大学院医学系研究科教授         |
| 津村 和大 | 川崎市立川崎病院内科医長・臨床研究支援担当課長 |
| 永井 良三 | 自治医科大学学長                |
| 柳川 堯  | 久留米大学バイオ統計センター特定教授      |
| 吉田 裕明 | 特定非営利活動法人 日本医療政策機構副代表理事 |

表2 戦略研究終了課題

	期間	研究課題名	実施団体	研究リーダー
糖尿病予防のための戦略研究	H. 17~H. 21	【課題1】2型糖尿病発症予防のための介入試験(J-DOIT1)	財団法人 国際協力医学研究 振興財団	葛谷英嗣 (国立病院機構京都医療センター名誉院長)
		【課題2】かかりつけ医による2型糖尿病診療を支援するシステムの有効性に関する研究(J-DOIT2)		小林正(当初~H21.9.30) (富山大学大学院特別研究教授) 野田光彦(H21.10.1~H22.3.31) (国立国際医療研究センター部長)
		【課題3】2型糖尿病の血管合併症抑制のための介入研究(J-DOIT3)		門脇孝 (東京大学大学院医学系研究科教授)
自殺対策のための戦略研究	H. 17~H. 21	【課題1】複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究(NOCOMIT-J)	公益財団法人 精神・神経科学振 興財団	大野裕 (慶應義塾大学保健管理センター教授)
		【課題2】自殺企図の再発防止に対する複合的ケースマネジメントの効果:多施設共同による無作為化比較研究(ACTION-J)		平安良雄 (横浜市立大学大学院医学研究科教授)
がん対策のための戦略研究	H. 18~H. 22	【課題1】乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験(J-START)	公益財団法人 日本対がん協会	大内憲明 (東北大学大学院医学系研究科教授)
		【課題2】緩和ケアプログラムによる地域介入研究(OPTIM)		江口研二 (帝京大学医学部教授)
エイズ予防のための戦略研究	H. 18~H. 22	男性同性愛者(MSM)を対象としたHIV新規感染者及びAIDS発症者を減少させるための効果的な啓発普及戦略の開発	公益財団法人 エイズ予防財団	市川誠一 (名古屋市立大学大学院教授)
感覚器障害戦略研究	H. 19~H. 23	聴覚障害児の療育等により言語能力等の発達を確保する手法の研究	公益財団法人 テクノエイド協会	福島邦博 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科講師)
腎疾患重症化予防のための戦略研究	H. 19~H. 23	かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究(FROM-J)	公益財団法人 日本腎臓財団(当初~H22.3.31)、筑波大学(H22.4.1~)	山縣邦博 (筑波大学医学医療系教授)